



未来を考え、今に挑む。

2026年2月20日

各 位

三井住友ファイナンス&リース株式会社
SMFL みらいパートナーズ株式会社

人工衛星の二次利用マーケットの創出に向けたアストロスケール社との覚書締結について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：今枝 哲郎、以下「SMFL」）と SMFL の戦略子会社である SMFL みらいパートナーズ株式会社（代表取締役社長：上田 明）は、株式会社アストロスケール（以下「ASJP」）と、ASJP が開発中の軌道上サービスを利用した人工衛星のオペレーティング・リース事業の開発等を含む、人工衛星の二次利用マーケットの創出を目指す覚書（以下「本覚書」）を締結したことをお知らせします。

ASJP が開発を行っている軌道上サービスは、軌道上で実施するデブリの除去、観測・点検、寿命延長・燃料補給、再利用・交換、および製造・修理等を通じ、使い捨てを前提とした衛星やロケットの開発から脱却し、Reduce（削減）、Reuse（再利用）、Repair（修理）、Refuel（燃料補給）、Remove（除去）といった循環型経済を宇宙空間で実現することで、衛星運用の持続可能性を高めることを目指しています。

SMFL グループは、2023年12月に国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と「人工衛星リース事業及び二次利用事業」に関する事業コンセプト共創の覚書を締結し、宇宙産業に参入する新たなプレーヤーを支える仕組みづくりを目指して活動しています。

本覚書の締結を通じ、SMFL グループと ASJP の強みを掛け合わせ、軌道上サービスとリースを組み合わせたサービスの開発、共創の可能性について検討してまいります。

【株式会社アストロスケール：<https://www.astroscale.com/ja>】

株式会社アストロスケールは、軌道上サービスの世界的リーダーとして、安全で持続可能な宇宙開発に取り組んでいます。故障機や物体の観測・点検、衛星の寿命延長、修理、アップグレード、衛星運用終了時のデブリ化防止のための除去、既存デブリの除去など、多様で革新的な軌道上サービスソリューションを提供しています。ASJP は、2021年3月以降、ELSA-d（エルサ・ディー）やADRAS-J（アドラス・ジェイ）のミッションにおいて軌道上で RPO 技術（Rendezvous and Proximity Operations 技術。宇宙空間でのランデブー・近接運用技術）を実証し、軌道上サービスのリーダーとしての地位を確立してきました。アストロスケールの宇宙機は、宇宙航空研究開発機構（JAXA）等との先駆的なミッションに採用されています。

以 上

【事業に関するお問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社 ネクストビジネス開発部 上田 TEL 03-6695-6095

SMFL みらいパートナーズ株式会社 ネクストビジネス開発部 佐藤 TEL 03-6695-5870

【プレスに関するお問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社 広報 IR 部 渡邊・清水 TEL 03-5219-6334